

# まちの元気で日本を幸せにする！

～地域の元気創造プラン～

プロジェクト推進工程表

平成25年5月28日

新藤議員提出資料

# 「地域の元気創造プラン」プロジェクト推進工程表

## ミッション

まちの元気で  
日本を幸せにする！

## ビジョン

- 地域のモノやチエを活かす
- ヒトや投資を呼び込む
- 新しい暮らしの土台を創る

## アプローチ

- 自治体が産業、大学、地域金融機関、地域住民等と連携して、活性化に取り組む

## プロジェクト1 地域経済イノベーションサイクル

## 「地域がその創意を発揮し民間資金を喚起する仕組み」

### 産学金官ラウンドテーブルを 全国各地で構築

～それぞれの強みを活かして連携～

- ・ 事業者 = 企業家精神・柔軟性
- ・ 地域金融機関 = 事業の目利き、事業継続のリスク・マネジメント
- ・ 自治体(国) = 立ち上げの初期投資支援(1回限り/呼び水)
- ・ 大学等 = ノウハウの蓄積(理論化・ケースメソッド化)

### 平成25年度

#### 各地の推進体制づくりと先行実施

- ・ 地域金融機関の代表及び金融庁と推進体制を確認
- ・ ガイドラインの作成
- ・ 自治体及び地域金融機関向けに全国各地で説明会(金融庁と合同)
- ・ 地域経済循環創造事業交付金(先行実施約60事業)

#### 先行事業による外部効果の検証(18事業)

- ・ 2倍の投資効果(国の交付金と同額の融資を喚起)
- ・ 2.2倍の雇用の創出(持続的な雇用の創出)
- ・ 地域課題の解決
  - ・ 廃棄物等の商品化
  - ・ 一次産品高付加価値化
  - ・ 地元資源活用にぎわい創出
  - ・ 流出資金域内還元

### 平成26年度

～事業化プロセスに応じた  
きめ細かな支援策の構築～

#### 全国各地で事業化促進

- ・ 起業家誘致・人材サイクル事業(アドバイザー等)
- ・ スタートアップ資金の支援
- ・ 地域活性化ファンド(仮称)の組成 等

# 「地域の元気創造プラン」プロジェクト推進工程表

## プロジェクト2 民間活力の土台となる地域活性化インフラ・プロジェクト 「イノベーションで地域活性化を起こす」

### 分散型エネルギーインフラ

- ・地域資源の徹底活用
- ・ICTを活用した需給調整(スマートシティ)

- ・ エネルギーの地産地消の推進 (太陽光、小水力、木質チップ等、余熱活用(コジェネ))
- ・ 地域への資金還元(FITの活用等)
- ・ 災害時の自主電源確保

### 公共クラウド

- ・行政データのクラウド化
- ・オープンデータの活用

- ・ 行政データの公開で民間活性化 (公開型)
- ・ 行政データを活用したシステムで民間事業者支援(民間事業支援型)

### 機能連携広域経営型

- ・新たな計画圏域の設定
- ・最適な共通インフラの整備

- ・ 医療、雇用、教育等の行政サービスの高度化・効率化
- ・ 圏域内への民間資本の導入 (民間による事業化、コミュニティビジネスの推進)

## 平成25年度

### プロジェクト候補地調査

エネルギー賦存量、需要予測、初期投資、事業収支 等

### 先行モデルの構築

公開型: 観光、防災  
民間事業支援型: 介護支援サービス、動産担保 等

### プロジェクトモデルの調査・検討

市町村の枠を超えた圏域全体の高度化  
民間投資のフル活用の検討 等

## 平成26年度

### 事業化に着手

- ・ 対象地域の選定
- ・ マスタープラン策定
- ・ プロジェクト推進組織の構築

### 本格システムの構築・稼働

- ・ 公開型クラウドアプリケーション  
～汎用的オープンデータ対応
- ・ 民間事業支援型  
～一定の対象事業を選定のうえ先行構築

### 対象圏域の設定とプラン策定

- ・ 医療・雇用・教育等の分野において、人、モノ、金等の流れの強化のためのインフラを計画的整備